

# 2022年度 第1回 子育て茶話会を開催しました

6月25日、第1回子育て茶話会を開催しました。昨年度は新型コロナウイルスの影響で、ほとんどがZoom開催でしたが、今回は対面で実施することができました。保護者6名・教職員5名、計11名が出席しました。

前半は、お子様の家での勉強の仕方についてご相談がありました。「私もせっかちだから先回りして口を出してしまうタイプです」「この前まで中学受験で、親が先導する場面も多かったから細かいことをつい言ってしまう事もありますよね」と共感する発言もありました。

後半は、コロナ禍での身近な人の自死から思う事に話が及び、生きているだけで、毎日学校に通ってきてくれているだけで十分ではないかという茶話会の結論になりました。最後に、スクールカウンセラーの先生から、人と比べないで、できたことを認めることが大切というお話がありました。

次回は9月17日(土)14時を予定しています(詳細は追ってお知らせします)。

保護者の皆さま、ぜひお気軽にご参加ください。

## 参加者の感想をご紹介します



みなさんの話を聞いていると、自分の考えが整理されてクリアになるので、本当にいつも勉強になることばかりですが、今回はしみじみと感じました。

命より大切な事はなく、ほとんどの事はたいした事ないのではないかと。もちろん、人を困らせたり犯罪をしたりマナー違反などについては、親が子どもに注意し、解決していかなければなりません。でも、親が問題視していることの中には、親が自分の観念だけに囚われて子どもに押し付けて、親の目線だけでこうあるべきと思い込んでいるものも多いのではと。

ほとんどの事が、子どもが元気で毎日を過ごす事以上に大切な事はなく、また日頃問題だなど考え込んでいることは些細なこだわりすぎないものも多いのではと思ったのです。コロナ禍で多くの危機感を抱きながら毎を送った私たちにとっては、以前、頭でいろいろ考えても自分を納得させられなかったことも、これまで長々と悩んでしまっていたことも、今はこだわりなく気持ちの整理ができるようになっている、ある意味今まで問題だと思っていたことが問題ではなくなっている、そんな時代に生きていて、根本的なことだけを考えるようになったのかなと思いました。そのようなことに気づくことができ勉強になりました。

茶話会では持論を展開するときに絶対的な意見のように言わないことに気をつけています。先輩ぶる態度は避け、あくまでも輪の中の対等な一人として参加したいです。また同じ悩みを持っている方の何かしらの役には立ちたいと思っています。(卒業生保護者)